

## 日中青少年近未来社会創造交流スクール事業 参加学生事前説明会資料

この事業は、平成 17 年度市民青少年交流助成対象事業として特定活動非営利法人日中環境経済センターの企画・提案が選定され、独立行政法人国際交流基金（外務省所管）からの助成を受けて実施するものです。

### 1 事業の趣旨

日中の青少年に持続可能な社会の姿を描いてもらい現在社会へフィードバックすることで、近未来へ向けての社会像づくりのための議論へのきっかけとする。

経済の飽和時期を過ぎて先のあり方を見出せない日本と高度経済成長期にある中国との社会状況の異なる2つの国の大学生が、自主プログラムを主体にした研修交流を行なう。

自主プログラム主体の背景には、現在社会にあってそれぞれ異なるシステム化社会の中で育った青少年を出来る限り制約の少ないプログラムの中で学生層別に研修させることで、2つの国の違いや学生の考え方の相違などを見出すと共に、2つの異なった国の各層の学生が協力しそこから選択する近未来の社会像から現在社会を検証する。

併せて、言葉の異なる学生同士を交流させることで、コミュニケーションに必要な基本要素を探る。

### 2 事業の手法

日本、中国からそれぞれ6名（男女各3名）計12名の参加大学生を3グループ（1グループは日中男女各1名、計4名で構成）に編成し、それぞれのグループが自主的に作成したプログラムを主体に研修交流を行なう中から、グループ毎の近未来社会像を創造します。

このスクール事業が、学生たちの自主的なプログラムを主体として構成される背景には、現在社会にあってそれぞれ異なるシステム化された社会の中で育った青少年を出来る限り制約の少ない状況の中で交流研修させることで、2つの国の違いや学生の考え方の相違などを見出すと共に、2つの国の学生が協力しそこから選択する近未来の社会像から現在社会を検証します。

### 3 事業日程

2005年9月10日（土）から9月16日（金）までの6泊7日

### 4 派遣先及び交流の相手方

（派遣都市） 中国浙江省杭州市  
（交流の相手方） 浙江樹人大学

### 5 交流参加者

別紙：名簿のとおり

### 3 事業計画（予定）

日程	期日	実施内容	会場
第1日目	9/10（土）	（入国～、上海から烏鎮へ移動） ショートセミナー（烏鎮の街づくり）	（中部国際～） ユースホステル
第2日目	9/11（日）	烏鎮見学 （烏鎮～杭州へ移動） 開校式（日中参加者合流） 自主見学・散策（現地市内・施設等） 自由懇談（意見交換会等） 日本・静岡紹介（DVD等） 自主プログラム発表会	浙江樹人大学賓館 （大学ホテル） 杭州市内
第3日目	9/12（月）	それぞれの軽体操（ラジオ体操・中国体操） 自主プログラム（意見交換会等） 近未来社会への提言書づくり	浙江樹人大学賓館 （大学ホテル）
第4日目	9/13（火）	それぞれの軽体操（ラジオ体操・中国体操） スクールセミナー （“環境哲学と浙江経済”国際学術フォーラムへの参加とフォーラムでの近未来社会への提言を発表） 茶館交流会（学生・団体等）	浙江樹人大学賓館 （大学ホテル） 杭州市内
第5日目	9/14（水）	それぞれの軽体操（ラジオ体操・中国体操） 開発区内の大学集積地区を視察 近未来社会への提言書づくり（整理・纏め）	浙江樹人大学・同賓館 （大学ホテル） 杭州市内
第6日目	9/15（木）	それぞれの軽体操（ラジオ体操・中国体操） 閉校式（日中参加者解散） （杭州～上海へ移動） 上海見学	建国賓館 （一般ホテル） 上海市内
第7日目	9/16（金）	上海自由散策 （～出国）	上海市内 （～上海空港）

（注）『日中青少年近未来社会創造交流スクール事業』は、9/10～9/15の5泊6日の計画です。  
9/16はNPO法人日中環境経済中心視察団との帰国調整と見聞を広めるための視察・見学です。

## 5 今後の予定

日 程	摘 要
8月	事業説明及び事前検討（2回予定）
9月上旬	オリエンテーリング等 受入準備等の具体的調整のための事前調査
9月中旬	事業実施
～10月末	事業報告会及び事業報告書の作成・提出

## 6 事業報告の計画（案）

- ・ 環境哲学フォーラムに於ける提案発表
- ・ HP での公開（JCECO 等）
- ・ DVD 等によるドキュメンタリー作成・提供
- ・ ワード、又は PDF による報告書の作成・提供

## 7 事業報告の考え方

別紙：事業報告の考え方のおり